

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

北多摩北部の状況

<H27報告とH26報告の比較>

・平成27年度報告は、高度急性期機能を選択した病床数は対前年比300床以上減、割合でも6ポイント減

・一方急性期機能は、病床数で約400床増、割合でも6.3ポイント増

<H27報告の特徴>

・高度急性期機能で7対1入院基本料又は10対1入院基本料を届け出た病床は670床で、これは高度急性期機能を選択した病床の約85%

・急性期機能の平均在院日数は都平均より長く、病床稼働率は都平均より低い。また、慢性期機能の平均在院日数は都平均より短く、病床稼働率は都平均並み

<H27報告と将来推計>

・高度急性期機能を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は788床

・将来(2025年)の患者数は高度急性期機能相当(3,000点以上)で447人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は596床

・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、192床減らさなければいけないという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の30.3%を占めるのに対し、自己申告の値は8.5%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、北多摩北部において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

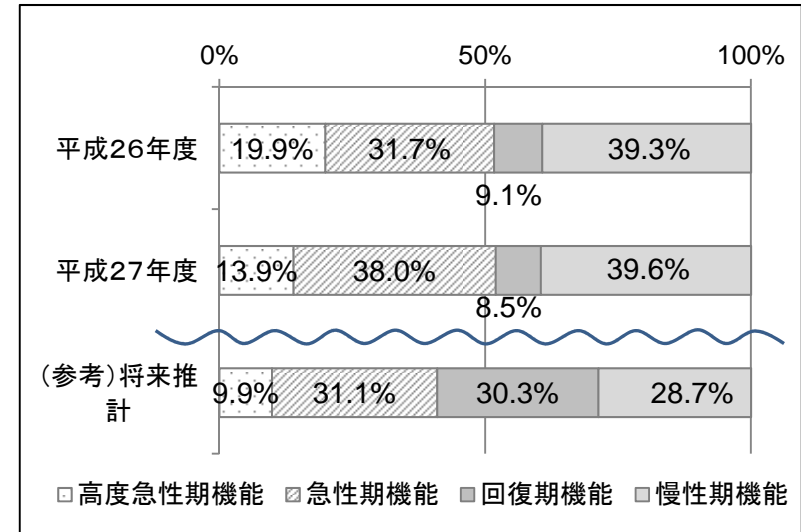
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度 報告結果	1,102床 19.9%	1,756床 31.7%	503床 9.1%	2,173床 39.3%	5,534床 100.0%
平成27年度 報告結果	788床 13.9%	2,152床 38.0%	480床 8.5%	2,238床 39.6%	5,658床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来 推計	患者数	447人	1,464人	1,647人	1,595人	5,153人
	病床数	596床 9.9%	1,877床 31.1%	1,830床 30.3%	1,734床 28.7%	6,037床 100.0%
2013年 推計足元	病床数	494.1床	1,480.8床	1,344.8床	2,154.3床	5,474.0床

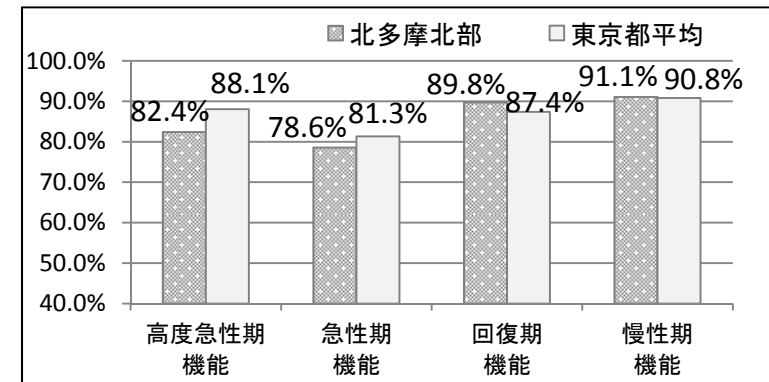


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1	一般病棟7対1入院基本料 579	一般病棟10対1入院基本料 767	回復期リハビリテーション病棟入院料 359	療養病棟入院基本料 1,149
2	一般病棟10対1入院基本料 91	一般病棟7対1入院基本料 737	一般病棟15対1入院基本料 43	障害者施設等入院基本料 521
3	小児入院医療管理料 32	一般病棟13対1入院基本料 250	地域包括ケア病棟入院料/入院医療管理料 39	介護療養病床 399
4	ハイケアユニット入院医療管理料 28	一般病棟15対1入院基本料 112	緩和ケア病棟入院料 20	一般病棟7対1入院基本料 75
5	救命救急入院料 26	有床診療所入院基本料 48	有床診療所入院基本料 19	緩和ケア病棟入院料 45

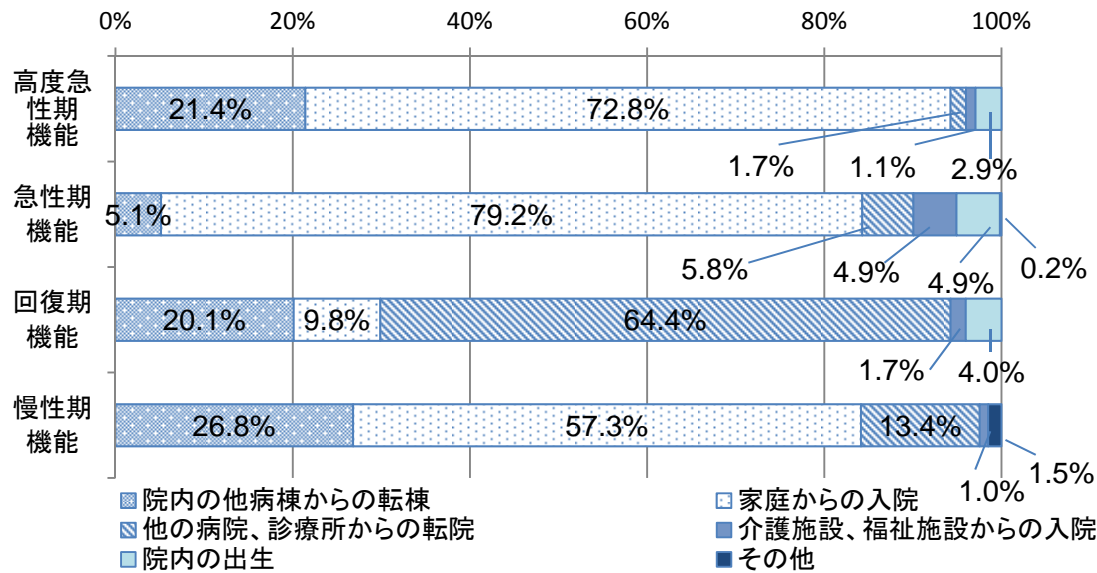
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



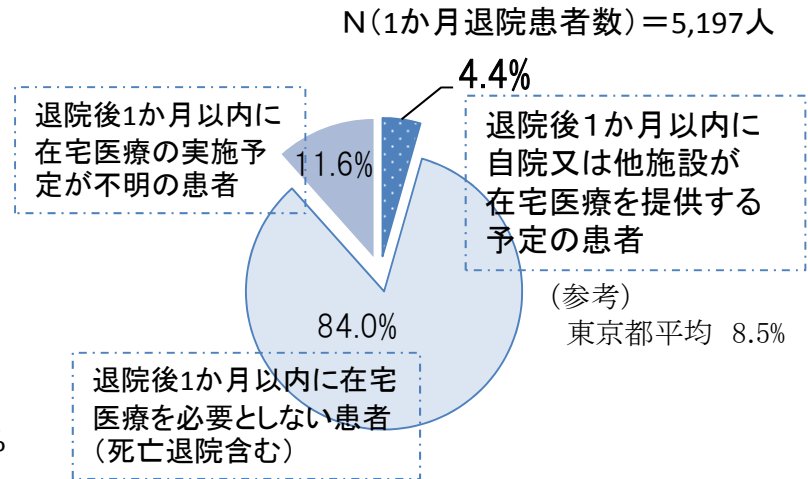
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

機能	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
平均在院日数(日)	9.5日	14.8日	65.7日	104.8日

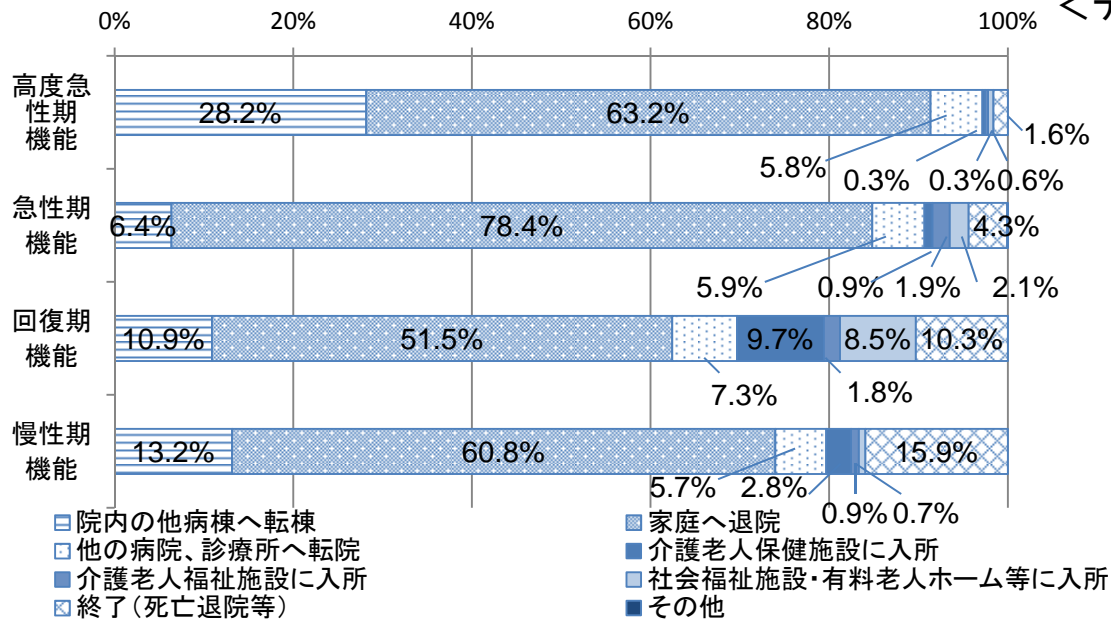
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所（病院）



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合（病院）



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所（病院）



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	2施設	28.6%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	4施設	57.1%
緊急時に対応する機能	1施設	14.3%
在宅医療の拠点としての機能	0施設	0.0%
終末期医療を担う機能	1施設	14.3%
いずれにも該当しない	2施設	28.6%

注 報告のあった7施設を集計。複数回答可。